

2014 6月のビオトープ ～植物・ゆるキャラコンテスト～

6月。増えすぎた植物が他の植物の居場所まで脅かすほどになりました。今年も厚木植物会の長岡先生、自然保護協会の青砥先生においでいただき、専門家による間引きをしていただきました。

池の縁には、アサザが細々と葉を伸ばしていました。デンジソウも覆われてしまったチドメグサの中から助け出し、今はその茎を伸ばしてきました。サンカクイは一角にすみかを持ち、周りのカヤを取り除くとその茎が伸びてきました。



植物には、強制種と弱制種があります。

本校のビオトープの中にある絶滅危惧種の植物たちは、住める環境がないと生きていけないのです。そのためにきちっとした知識をもった植物会の先生方に間引きしていただきました。ただ植物を抜くだけでなく、各植物の住む空間を整備していただいたのです。おかげで、あっという間に植物たちがその命の輝きを放ってきました。さらに消えてしまった、イヌタヌキモは 再度いただき、植物が環境に慣れるまで

カゴに入れて、池に放っています。人の環境で絶滅しそうな植物を人の手で戻していくことの大変さを痛感しています。

～ゆるキャラコンテスト～

2014年ビオトープを中心に活動する**環境委員会**が組織されました。主な活動は、ビオトープや校庭の環境管理。落ち葉を取ったり、池の藻を取ったりして管理や観察したことを日々日誌に残すことを主な活動としています。



さらに6月9日～13日かけては、「ビオトープのゆるキャラ」の募集をおこないました。1年生から6年生までの応募総数は100点近くにのぼりました。その中から、ビオトープの主旨にあった「ゆるキャラの候補」を絞って、コンテスト（投票）をして決定していきます。決定されましたら、お知らせしますので。お楽しみ！